

市報

やまぐち

<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/>

<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/keitai/index.html>

koho@city.yamaguchi.lg.jp

第21回国民文化祭・やまぐち2006 P.2
新市の予算 P.9
まちづくりびと P.10



2005 **11.1**
November
No.2

「アートふる山口」にて
(10月8日・市菜香亭)

第21回国民文化祭



やまぐち2006

平成18年11月3日▶12日

やまぐち発
心ときめく
文化維新

国民文化祭は、音楽、演劇、文芸、美術など幅広い分野において全国各地で文化活動を行っている個人や団体が集い交流する、文化庁・県・市町村・文化団体の共催によるわが国最大の文化の祭典として、昭和61年から毎年、全国各地で場所を変え、開催されています。

来年は、第21回目となる国民文化祭の会場として山口県が選ばれ、平成18年11月3日から12日までの10日間「やまぐち発 心ときめく文化維新」のテーマのもと、約100の文化イベントが県内各地で開催されます。

市内では、期間中、5ページの市主催11事業を実施するほか、開閉会式、オープニングパレード、生活文化総合フェスティバル、きらめき公募事業、子ども夢プロジェクトが開催されます。

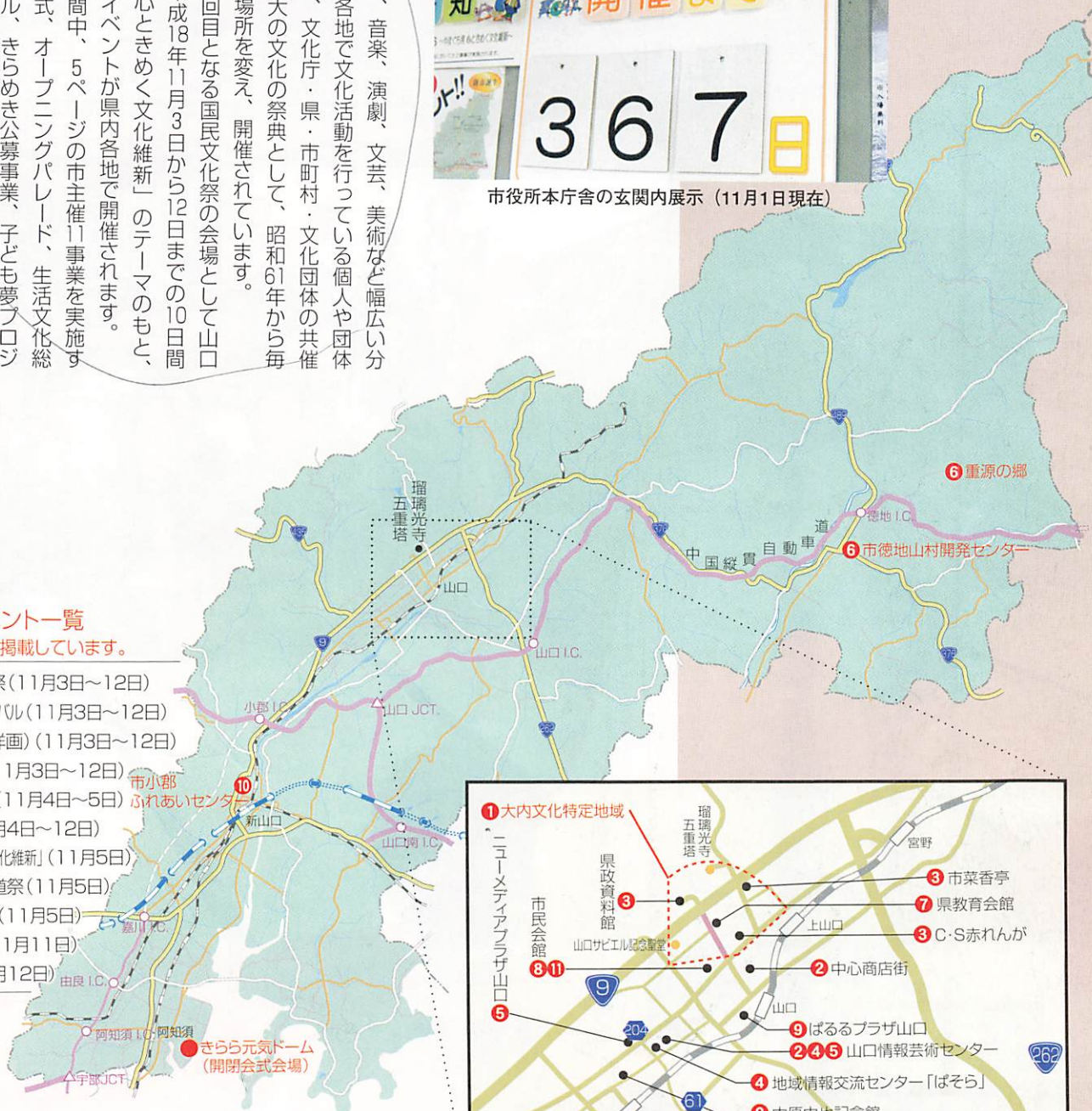


市役所本庁舎の玄関内展示 (11月1日現在)

→市内会場イベント一覧

※概要は5ページに掲載しています。

- ① 街なか生活文化祭(11月3日~12日)
- ② ファッションフェスティバル(11月3日~12日)
- ③ 美術展(日本画・洋画)(11月3日~12日)
- ④ メディア芸術祭(11月3日~12日)
- ⑤ 演劇祭(現代劇)(11月4日~5日)
- ⑥ 里山文化祭(11月4日~12日)
- ⑦ シンポジウム「雪舟と文化維新」(11月5日)
- ⑧ 全国吟詠剣詩舞道祭(11月5日)
- ⑨ 文芸祭「現代詩」(11月5日)
- ⑩ 文芸祭「俳句」(11月11日)
- ⑪ 日本舞踊祭(11月12日)



■問い合わせ 市国民文化祭推進室 (☎083-934-2904)

イベント報告

国民文化祭推進室
中園室長



国民文化祭をより多くの方に知っていただき、さまざまな文化活動に触れる機会を持っていただくため開催したイベントに、多くの方に参加していただき、来年の国民文化祭に向けて手応えを感じました。これまでに開催したイベントに参加されたみなさんや、会場の様子をご紹介します。

第46回演劇祭

写真①②

9月10日に山口情報芸術センターで行われた「劇団若者座」と「劇団演劇街」の公演に、延べ約400人が訪れました。幕間には「山口きららバンド」をはじめ、山口県鴻城高校演劇部、県内各劇団が次々と多彩なショーを繰り広げました。



翌11日からの、県内演劇人を対象にした「ワークショップリーダー養成講座」では、県内の各劇団から集まった18人により、来年のオリジナル創作劇の上演の準備が進められています。

街なか生活文化祭

第10回アートふる山口

写真③④⑤

10月8日と9日に、秋の恒例イベント「アートふる山口」が、一の坂川・大内文化特定地域周辺で開催されました。国民文化祭イベントを兼ねた今年

は、記念すべき第10回目。市内だけでなく市外・県外からも多くの人が訪れ、2日間で約6万人が秋の散策を満喫しました。

オープニングステージでは、きららバンドが野田学園幼稚園のみなさんと一緒にステージに立ち、国民文化祭をPR。

高校生ボランティアらによる史跡ガイドも行われ、来場者に喜ばれていました。

会期の前後には、季節のテーマに沿った常設展示を楽しめる「いつでもアートふる山口」も行われました。

美術展ワークショップ

「つくろう・あそぼう・アートの世界」

写真⑥⑦

10月8日と9日に、国の重要文化財にも指定されている旧県会議事堂で、小学生を対象とした美術展ワークショップが行われました。貼り絵で自分だけのデザインをつくる「灯籠をつくる」、昔の印刷技術を体験する「リトグラフを体験しよう」、大正生まれの方をモデルにした「人間を描こう」の3つのコースに、合わせて52人の小学生が参加しました。

メディア芸術祭

スモールフィッシュ「Small Fish」

写真⑧⑨

10月15日から30日にかけて、山口情報芸術センターで「Small Fish」の展示

とワークショップが行われました。

「Small Fish」とは、絵が動く空間全体を楽譜に見立て、画面上の映像を操作することにより、音楽を奏でる作品で、簡単な操作で映像と音楽を同時に操る楽しみが味わえます。

15日と22日には、小学生を対象にワークショップが開かれ、自作の絵や音を「Small Fish」に取り込んだり、映像と音を自由に操る演奏パフォーマンスを楽しんだりしました。また期間中はワークショップ参加者の作品も展示されました。

これまでのイベントを簡単にご紹介しましたが、これからも、参加された方たちのご好評を励みに、来年の国民文化祭へ向けて取り組んでいきます。

参加者や作品を募集中のイベントもたくさんありますので、ぜひご参加ください(次ページ参照)。



里山文化祭プレフェスティバル

日時 11月6日(日) 午前10時～午後4時
場所 市徳地文化ホール(徳地堀1527-3)
内容 和太鼓と竹を使ったさまざまな楽器による演奏会
木と竹を組み合わせた芸術作品の展示
■問い合わせ
徳地教育支所生涯学習課 (☎0835-52-0217)



企画担当者
藤井浩史さん

生活に密着しているが故に注目されにくい「木」と「竹」を使った作品を展示します。また、地元八坂小学校の児童による「重源太鼓」と「やまぐちバンブーオーケストラ」の演奏もお聞き逃しなく。

吟剣詩舞山口県大会

日時 11月6日(日) 午前10時～午後1時
場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
内容 県内吟剣詩舞愛好家による合吟
吉田松陰をテーマとした創作構成吟剣詩舞
「至誠憂国の旅人 吉田松陰」



構成吟脚本
荒巻大拙さん

諸藩に分裂した日本の統一を念じ、矛盾に満ちた幕末からの脱却と平和対等外交を願った、一人の人間としての吉田松陰先生のまごころを、山口の地から高らかに吟じます。ぜひ、ご鑑賞ください。

第42回山口県俳句大会

日時 11月12日(土) 午前10時～午後3時30分
場所 市小郡ふれあいセンター(小郡下郷1440-1)
内容 県内から応募された俳句の優秀作品を表彰
小・中学生を対象としたワークショップ
■問い合わせ
小郡文化資料館内実行委員会 (☎083-973-7071)



企画担当者
上田泰裕さん

ワークショップでは、俳句の作り方を話し合ったり、同じ季語でみんなで作ります。自作ができたなら、3句まで先生に見てもらえます。一緒に楽しみましょう。

05' やまぐち県詩祭

日時 11月23日(水・祝) 正午～午後5時
場所 ニューメディアプラザ山口(熊野町1-10)
内容 小・中学生から募集した詩の優秀作品の表彰
松尾静明氏(詩人)講演
「ぼくの経験のそばでは、いつも詩が」

* 詩人和合亮一氏による小・中学生詩作ワークショップ
* ワークショップ参加希望の方は、11月14日(月)までに、市国民文化祭推進室へ氏名、学校名・学年、連絡先をご連絡ください(参加料:無料 応募者多数の場合は抽選)。



推進委員長
福田百合子さん

県内の小・中学校から寄せられたたくさんのユニークな詩の中から、優秀作品を表彰します。また、中原中也賞受賞者の和合先生は、各地でワークショップを開いておられる方です。多くの方の参加をお待ちしています。

これから行われるプレイベントの見どころ

各イベントに伺いました。

シンポジウムと水墨画ワークショップ

【シンポジウム】
日時 11月18日(金) 午後6時～9時
場所 県教育会館(大手町2-18)
内容 「古い歴史のうえに、新しい未来を創る」

【王子江さんの水墨画ワークショップ】
日時 12月15日(木) 午前10時～正午
場所 大殿小学校
内容 王子江氏(旅日水墨画家)の公開制作とワークショップ



副推進委員長
馬越帝介さん

来年は、雪舟没後500年を迎えます。歴史と文化に学んだ山口の街づくりと山口からの文化発信を提案するシンポジウムを開催します。王子江さんによる水墨画の公開制作も必見です。

第5回山口県日本舞踊祭

日時 12月4日(日) 午前10時～午後4時30分
場所 市民会館(中央二丁目5-1)
内容 古典舞踊や創作舞踊振付コンクール
金子みすゞの詩を課題とした子どもたちの舞踊



推進委員長
林希久輔さん

県内の日本舞踊愛好家が大集合し、雅やかな舞を繰り広げます。また、子どもたちによる日本舞踊や創作舞踊「錦帯橋の四季」なども披露します。来年の舞台に向けて、新たな創作舞踊に取り組んでいますので、ぜひお越しください。

平成18年11月に行なわれる 国民文化祭のイベント内容

<p>1</p> <p>街なか生活文化祭 アートふる山口</p>	<p>平成18年11月 3日(金・祝)~12日(日)</p> <p>大内文化特定地域ほか</p>	<p>街中を小さな美術館に見立て、さまざまな作品を展示し、西の京をアートで彩ります。画聖雪舟没後500年を記念した大内文化体験や明治維新の躍動を体験できる仕掛けを考えています。歴史に裏打ちされた食文化を感じていただくコーナーも予定しています。</p>
<p>2</p> <p>ファッション フェスティバル</p>	<p>平成18年11月 3日(金・祝)~12日(日)</p> <p>山口情報芸術センター 市中心商店街ほか</p>	<p>「第7回ジャパンファッションデザインコンテストin山口」と連携してデニム素材のファッションショーを開催し、斬新なデニムファッションや生活小物を街中に展示します。また、新しいジャポニスムの近未来像を探るシンポジウムと展覧会を予定しています。</p>
<p>3</p> <p>美術展 (日本画・洋画)</p>	<p>平成18年11月 3日(金・祝)~12日(日)</p> <p>県政資料館・市菜香亭 C・S赤れんが ほか</p>	<p>全国から絵画作品を募集し、入賞者の表彰と入選作品の展示を行います。また、美術に親しんでいただけるよう、子どもたちのためのワークショップを開催します。</p>
<p>4</p> <p>メディア芸術祭</p>	<p>平成18年11月 3日(金・祝)~12日(日)</p> <p>山口情報芸術センター 地域情報交流センター「ぼそら」</p>	<p>文化庁メディア芸術祭山口展を開催します。詩人中原中也による著作から触発された新たな映像作品の制作、展示を行います。展示とワークショップを融合させた企画も考えています。</p>
<p>5</p> <p>演劇祭 (現代劇)</p>	<p>平成18年11月 4日(土)~5日(日)</p> <p>山口情報芸術センター ニューメディアプラザ山口</p>	<p>全国各地で活躍しているアマチュア劇団による公演や、県内の演劇人と市民が合同で創作するオリジナル劇の上演、会場周辺での演劇パフォーマンスや演劇に関する催しを行います。また、大人から子どもまで楽しめるワークショップを開催します。</p>
<p>6</p> <p>里山文化祭</p>	<p>平成18年11月 4日(土)~12日(日)</p> <p>市徳地山村開発センター周辺 重源の郷</p>	<p>里山文化に関するさまざまな展示・実演・体験を通じ、子どもたちが里山に触れ合える事業を行います。併せて「光と木・竹のデザイン展」を開催します。</p>
<p>7</p> <p>シンポジウム 「雪舟と文化維新」</p>	<p>平成18年 11月5日(日)</p> <p>県教育会館 ほか</p>	<p>画聖雪舟没後500年を記念して、「あなたも雪舟」絵手紙展や「雪舟ゆかりの地探訪ツアー」、雪舟に関するシンポジウムを開催します。併せて子ども向けワークショップを開催します。</p>
<p>8</p> <p>全国吟詠剣詩舞道祭</p>	<p>平成18年 11月5日(日)</p> <p>市民会館</p>	<p>全国の吟詠愛好者による合吟や全国的視野に立った企画構成吟、山口の特色を生かした企画構成吟を行います。また、子どもたちのための吟詠剣詩舞の体験教室を行います。</p>
<p>9</p> <p>文芸祭 「現代詩」</p>	<p>平成18年 11月5日(日)</p> <p>ぱ・る・るプラザ山口 中原中也記念館</p>	<p>国内外から募集する現代詩と朗読詩のコンクールを行います。子どもたちのための詩作ワークショップや文芸愛好家が交流の輪を広げる企画を予定しています。また、山口市出身の詩人中原中也にちなんだ企画や記念講演なども開催します。</p>
<p>10</p> <p>文芸祭 「俳句」</p>	<p>平成18年 11月11日(土)</p> <p>市小郡ふれあいセンター</p>	<p>国内外から俳句作品を募集し、入選発表、表彰式、当日句、選評、講演会、吟行・交流会からなる俳句大会を行います。また、子どもたちのためのワークショップを行います。</p>
<p>11</p> <p>日本舞踊祭</p>	<p>平成18年 11月12日(日)</p> <p>市民会館</p>	<p>全国の日本舞踊愛好家による作品を発表します。地元日本舞踊愛好家による創作作品を発表します。子どもたちのためのワークショップを開催します。</p>

市政トピックス

市と山口大学が包括的連携・協力協定を結びました

9月28日、市は国立大学法人山口大学（以下 山口大学）との「包括的連携・協力に関する協定書」に調印しました。

市はこれまでも、山口大学から各種審議会委員への教授らの就任、講師の派遣などを通じて、まちづくりにも多大な貢献を受けてきました。

現在山口大学では、市民公開講座などを開催するエクステンションセンターや経済学部観光政策学科、教育学部などにおいて、広範囲な教育・研究面の向上と地域社会への貢献を目指しています。

今回の協定調印は、市が地域の抱える課題を解決し、市民サービス向上を一層推進



調印式の様子

するため、同大学と以下の4項目について、緊密で組織的な連携・協力を行うことを確認し、意識共有を行うものです。

①山口大学が保有する知的・人的財産を活用した、地域の教育・文化の振興と諸課題への取り組みに関すること

②観光客動態調査、特定区域内における回遊型の新たな観光交通システムなど、観光政策に関する研究・企画に関すること

③学校教育・社会教育分野における学生と教職員・市職員との相互研修による資質向上など、教育政策の研究・企画に関すること

④その他、包括的連携・協力の目的に沿った諸課題に関すること

今後は、両者による各連携・協力項目についての分科会を立ち上げ、定期・随時に開催する連絡協議会を通じて、具体的な連携・協力事項の確認および方策・必要事項の協議等を行います。

これらの連携・協力が具体化することにより、地域の諸課題を解決する取り組みが進展するとともに、地域政策の研究などを通じた、市職員の政策形成能力の向上に伴う、質の高いまちづくりが進むことが期待されます。

なお、昨年9月に調印された旧徳地町と山口県立大学との協定については、新「山口市」としてこれを引き継ぎ、地域と大学の活性化のためのさまざまな分野での相互連携・協力を行っていきます。

新「山口市」議会の初代議長・副議長が選出されました

10月19日、新「山口市」の第1回市議会臨時会が開催され、選挙の結果、議長に武田寿生議員（新世紀クラブ）、副議長に原田欣知議員（県都クラブ）が選出されました。

この後、8つの常任委員会、議会運営委員会について、委員が選出されました（正副委員長は、各委員会において互選）。



武田議長



原田副議長

組みの進展により、山口芸術短期大学を含めた市内の3大学と産・官の連携による学園都市づくりに向けた、より具体的な展開が期待されます。

■問い合わせ 市企画経営課
☎083-9934-2747

いずれも任期は、合併に伴う在任特別期間である来年4月末日までです。

※市議会ホームページ
<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/gikai/org/index.htm>

■問い合わせ 市議会事務局
☎083-9934-2854



「おかやま国体」出場者激励壮行会を行いました

10月14日、「第60回晴れの国おかやま国体体育大会秋季大会」（10月22日～27日岡山県で開催）出場者の激励壮行会を市役所本庁で開催しました。市内の高校生、社会人ら64人の出場者のうち、出席した40人に、



激励を受ける選手ら

飯田市長職務執行者から激励金が贈呈されました。

飯田市長職務執行者は「平日頃の練習の成果を存分に発揮され、郷土の誇りを胸に、新生『山口市』に夢と感動を与えてください」と激励しました。

出場者を代表してあいさつに立った梶原麻紀さん（陸上競技に出場）は「新生『山口市』の代表として、頑張ってください。19万市民のみなさんの応援があることを励みに、全力を尽くしたい」と、力強く意気込みを語りました。

選手らの活躍は、県内で平成23年（2011年）に開催される「第66回山口国民体育大会」への弾みとしても、期待されます。

■問い合わせ 市スポーツ振興課
☎083-934-2873

第48回市美術展覧会を開催しました

9月29日、第48回市美術展覧会の表彰式を、市民会館展示ホールで開催しました。

応募総数226点の中から、大賞・準大賞各1点、市教育委員会賞・山口文化協会賞各2点、奨励賞12点が入賞されました。

入賞作品は、10月10日まで、同ホールおよび小ホールで展示されました。

◇受賞者（敬称略）

●大賞

【工芸】「回遊（窯変魚文壺）」窪田 榮

●準大賞

【洋画】「二本の線」橋口 仁



大賞作品「回遊（窯変魚文壺）」
「器を海に見立て、自由にいきいきと遊泳する魚の群を表現しました」
（大賞受賞者 窪田さん）

●市教育委員会賞

【書】「貫蔵輝」柳井 映潤

【写真】「蓮三形」堀 英樹

●山口文化協会賞

【日本画】「里山の半鐘」前田 淑子

【洋画】「たそがれて」河村 康子

●奨励賞

【日本画】「遊口」村前 純子

【洋画】「温い肉」小松 義幸

「空想建築のためのドローイング」

林 康雄

【彫刻】「絆I」山口大学教育学部附属山

市白石公民館が落成しました

昨年からの新築工事に着手していた市白石公民館（本町二丁目1-25）が完成し、9月25日、落成式を行いました。

白石地区の公民館は、これまで市民会館に併設された旧中央公民館を代用していた



「愉快な仲間」吉川 忠昭

【工芸】「ひざし」金子 建一

「萩掛分窯変壺」長廣 裕夫

【書】「春の月」岡本 絢子

【写真】「フラインド越しの風景」

貞弘 安子

「遊友」柏木 節夫

「FOCK」江波 静雄

「デザイン」「タロット・カード」デザ

ン 井上 広之

■問い合わせ 市文化振興課

☎083-934-2718

ため、単独公民館を求める声が上がっていました。

式典には、市長・教育長・市議会議長・地元関係者らが出席の上、あいさつや来賓祝辞、テープカットなどが行われ、晴れやかに落成を祝いました。

公民館は、鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積1054平方メートルで、1階に児童コーナーを設けた図書室、事務室、2階に100人収容の講堂、和室、調理実習室、3階に講座室、視聴覚室があります。また、1・2階には、多目的トイレを設置しています。総工費は、3億1900万円です。

今後は、これらの機能を活用した、地域の生涯学習や文化活動等の拠点として、世代を越えた利用が期待されます。

■問い合わせ 市生涯学習課

☎083-934-2865

保険・年金Q&A

障害基礎年金の受給資格について

Q 私は現在、身体障害者手帳2級を持っています。障害基礎年金を受給できますか？

A 障害基礎年金は、障がいの原因となった病気やけがの初診日が、次のいずれかの期間中にあり、障害等級1級または2級に該当する方に、支給されます。

- ・20歳より以前
- ・国民年金に加入中
- ・60歳から65歳までの間

国民年金の障害等級は、身体障害者手帳の等級とは異なるものです。そのため、2級の身体障害者手帳を持っていても、必ず障害基礎年金が支給されるものではありません。また、受給資格の有無は、保険料の納付状況などによっても異なります。

詳しくは、市保険年金課または各総合支所の市民課年金担当へご相談ください。

■問い合わせ 市保険年金課年金担当 ☎083-934-2802
各総合支所市民課年金担当
小郡☎083-973-8132 阿知須☎0836-65-4113
秋穂☎083-984-8022 徳地☎0835-52-1113

秋季全国火災予防運動

11月9日(水)～11月15日(火)
～あなたです火のあるくらしの見はり役～

9月末現在、市内で36件もの火災が発生しています。肌寒い季節を迎え、屋内外での火の取り扱いが多くなり、火災が起こりやすくなっています。住まいの防火は、日々の用心と備えからです。防火に心がけ、生命や財産を守りましょう。

1 住宅防火いのちを守る7つのポイント

- 3つの習慣**
- ・寝たばこは、絶対しない
 - ・ストーブは、燃えやすいものから離して使用
 - ・ガスこんろ等のそばを離れるときは、必ず消火
- 4つの対策**
- ・住宅用火災警報器などの設置
 - ・防災寝具・防災衣類の使用
 - ・初期消火のため、住宅用消火器等の設置
 - ・高齢者等を守るため、近隣の協力体制の確立

2 放火火災予防のポイント

- ・施錠管理を確実にし、外部からの進入を防ぐ
- ・照明器具の設置等により、暗がりなくす
- ・建物の周囲を整理整頓し、燃えやすいものを放置しない

3 地震時と日常における出火防止のポイント

- ・使用中の電気機器の電源を切る
- ・使用中のガス機器のスイッチを切り、ガス栓を閉める
- ・電気やガスからの出火の可能性を、日頃から認識する

■問い合わせ 市消防本部予防課 ☎083-932-2601

市政ココが知りたい!

市民のみなさんから多く寄せられたご質問に、お答えします。

新しい住所表示について

10月からの住所表示の変更で、何が変わったのですか？

まず、住民基本台帳上の住所の表示が変更されました。

このほか、市が発行する住民票や戸籍、印鑑登録証明書ほかの各種証明書に記載される町名の変更、「大字」の削除が行われました。また、番地表示に「の」がある場合は、これが削除されます。

商業・法人登記簿上の本店(事務所)の所在地の表示は、自分で変更の申請が必要ですか？

町名の変更・「大字」の削除については、法務局において職権で変更されましたので、本人による申請の必要はありません。

一方、番地表示の「の」については、本人の申請に基づき登記されているため、職権では変更されません。特に変更の必要はありませんが、削除を希望される場合は、市市民課窓口等で発行しています「住所の表示変更証明書」を添付の上、法務局へ申請されれば、変更登記が完了します。

不動産登記については、どうですか？

土地・建物の登記簿の所在欄については、法務局において職権で変更登記が行われましたので、本人による申請の必要はありません。

また、所有者や抵当権者の住所等については、合併後の住所に変更されたものとして取り扱われますので、問題はありません。

住所の変更を希望される場合は、市発行の「住所の表示変更証明書」を添付の上、法務局へ申請されれば、変更登記が完了します。

※**公的機関への手続きは必要ですか？**

公的機関への住所変更手続きの要否については、その内容により異なります。詳しくは、各機関へお問い合わせください。

また、合併に伴う住所変更手続きについては、市ホームページhttp://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/jyukyo/jyukyo/union/union_info.htmにも掲載しておりますので、ご参照ください。

※法務局・運輸局・郵便局・社会保険事務所・警察署・銀行等

■問い合わせ 市地域生活課 ☎083-934-2757

新市の予算(平成17年度)

新「山口市」における平成17年度予算は、旧1市4町が通年予算として編成していた平成17年度予算のうち、9月末の残予算を統合したものを基本に編成しています。この予算は、10月1日の新市誕生と同時に市長職務執行者が専決処分により決定し、10月19日開会の平成17年第1回山口市議会臨時会において報告しました。

問い合わせ 市財政課 (☎083-934-2750)

新市の予算総額は

775億5234万円

新市の予算は、当初予算を継承した向こう半年間の予算です。これに加え、合併に伴う事務一元化調整による増減や合併移行経費を、合併協議に基づき予算計上しています。

また、合併により新市が引き継いだ一部事務組合の予算や、旧市町の清算金、繰入金、予備費、旧市

町間の負担金などについても整理した結果、一般会計の予算総額は、422億5859万円となりました。

なお、国民健康保険、老人保健医療など、13ある特別会計の合計は、352億9375万円となり、一般会計と特別会計の合計額は、775億5234万円となっています。

合併に伴う予算の調整(一般会計)

歳入

【歳入予算残】
395億2,576万円

【事務一元化調整分】
生活保護費国庫負担
児童扶養手当国庫負担
ごみ処理手数料
窓口手数料(減額)
ほか
1億9,958万円

【予算調整】
旧市町清算金、繰入金、
一部事務組合分ほか
25億3,325万円

歳入予算額計
422億5,859万円

歳出

【歳出予算残】
424億938万円

【事務一元化調整分】
生活保護事務移管
児童扶養手当支払
福祉優待バス乗車証交付
乳幼児医療費
自治会集会所設置補助
合併浄化槽補助
特別職等人員費(減額)
ほか
3億255万円

【合併移行経費】
市長選挙
記念式典
消防指令システム改修
ほか
2億1,203万円

【予算調整】
旧市町間負担金、予備費、
一部事務組合分ほか
▲6億6,537万円

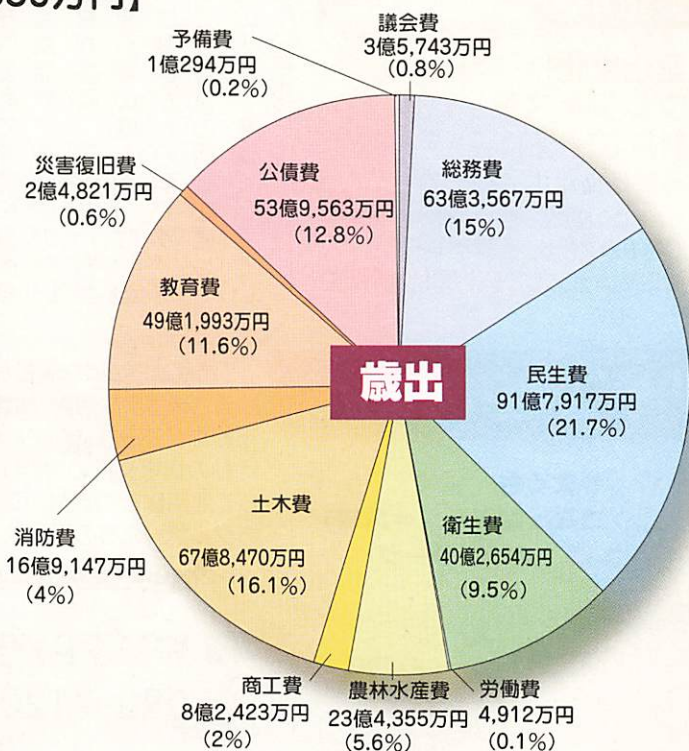
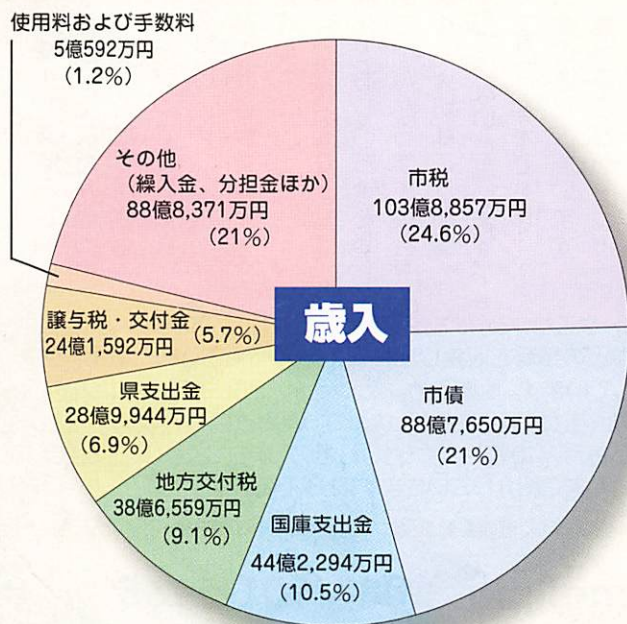
歳出予算額計
422億5,859万円

一般会計および特別会計予算

会 計	予 算 額
一般会計	422億5,859万円
特 別 会 計	
国民健康保険	89億2万円
老人保健医療	116億4,633万円
介護保険	67億8,592万円
介護サービス事業	1,147万円
下水道事業	55億3,957万円
土地取得事業	4,858万円
駐車場事業	3,324万円
小郡駅前第三土地 区画整理事業	11億4,960万円
農業集落排水事業	9億2,285万円
漁業集落排水事業	3,544万円
交通災害共済事業	1,204万円
国民宿舎	1億8,660万円
特別林野	2,209万円
計	352億9,375万円
合 計	775億5,234万円

※平成17年10月1日から、平成18年3月31日までの予算です。

一般会計歳入歳出予算 [422億5,859万円]



■日頃はどんな活動をして
いますか。
徳地に住んだおかげで自
給自足の技を学び、実践し
てきました。たくさんのお自
然に囲まれていますから、
自然から学んだことは多い
ですよ。今でも、自分でそ
ばを打ったり、しその葉で
ジュースを作ったりして、
いろいろなものを自家製で
賄っています。自分で作っ

愛媛県から徳地三谷地区みたに嫁いで来られた時には、「あま
りにも何もないところで驚いた」と話される田中京子さん
それがきっかけで、自給自足の知恵を身に付け、現在はそ
の技を生かして、徳地の食材の良さや、食の大切さを伝え
る活動に農家生活改善士などとして、熱心に取り組まれて
います。来年の国民文化祭・やまぐち2006にも、生活
文化の分野で参加される田中さんにお話を伺いました。



たなか きょうこ
田中京子さん
(徳地在住)



プロフィール
徳地地区生活改善実行グループ連絡協議会会長
ルーラルガイド、農家生活改善士としても、意欲的に
徳地の良さを伝えている。

自然とのふれあいを楽しみ、
住みたくなるまち

た季節の食材を食べるのは、
安心できるし本当に旨いな
のだと思いますよ。今では
地域のグループの仲間と、
徳地の食材を使った料理教
室の講師をしたり、イベン
トなどでは郷土料理の販売
などを行っています。みなさ
んに喜んでいただけるのが
とてもうれしいです。

■農家生活改善士とは？

農村地域にホームステイ
をしたいという高校生を受
け入れています。滞在中は
農家の家族同然に過ごし、
農業を体験してもらいなが
ら、安全な食材があること
を知ってもらい、「食」の大切
さを感じてもらっています。こ
の体験で農業への興味が深
まり、農業関係の進路を選
んでくれた生徒さんもいて
その後もずっとご縁が続い
ているのもとてもうれしい
です。

■国民文化祭ではどのよう
なことをする予定ですか

生活改善実行グループで、
郷土料理・旬の味をみなさ
んにご提供する予定です。
また、山を散策し自然を体
験できるような企画ができ
るといいですね。徳地のお

いしい食文化や素晴らしい
自然を体感したことがきつ
かけで、若い人たちが住ん
でみたいと思ってくれたら
いいですね。

■これからの目標を教えてください。

今の若い世代のみなさんは、
核家族化でおいじちゃんや
おばあちゃんから学ぶ機会
が少なく、大切なことが受
け継がれていないと思います。
私は、「食」は基本であり、
人間の命の源だと思えます
から、食べることをもっと
重要だと考えてほしいです。
現在は便利ですぐに食べら
れる食品や、季節感のない
食材が多く、子どもたちが
あまり旬の味を知らないの
ではないかと心配です。そ
こで、食育の活動を通し、
食の大切さを深く伝えてい
きたいです。

お知らせ

田中さんも参加します!

里山文化祭
プレフェスティバル

11月6日(日)

市徳地文化ホールにて

竹と木の作品展示 午前10時～午後4時

竹楽器の演奏会 午後2時開演

山口市徳地フェスティバル同時開催

「やこねっと」とは？

や：やまぐち
こ：コミュニティ (=地域)
ねっと：ネットワーク

「市民まちづくり情報センターやこねっと」は、山口市内や近隣地域のまちづくりに関するさまざまな活動・話題・人などの情報を収集し、ホームページ「やこねっとWeb」や市報などでみなさんにお届けしています。地域活動、ボランティア活動など、みなさんの活動の情報交換の場として、また、まちづくりに参加したくなったときの情報収集の場として活用してください!これから毎月、「市報やまぐち」1日号の「まちづくりひと」と「まちぐる」で、まちの元気なみなさんをご紹介します。お楽しみに!

☆やこねっとは特定非営利活動法人ゆにーくが、市の委託を受けて企画・運営しています。

✉ yacopy@ycnet.jp ☎ 083-901-1165

☎ 090-7120-0847

〒753-0047 道場門前一丁目2-19
市民活動支援センター さぼらんで内



環境 ヒュッテ桂谷 ランプの宿・いろり庵

連絡先 山口市小郡上郷桂谷
TEL 083-972-8848

代表者 さえき きよみ
佐伯 清美



メンバーから 代表の佐伯さんと愛犬ログちゃん

ここでは、大人も子どもも年齢を忘れて思いきり遊んでストレス解消！料理、陶芸、木工、杉の枝打ち、畑作りをしながら、この里山空間で一緒に活動しませんか？里山再生ボランティア随時募集中！

だれもが心癒される美しく豊かな里山。そこにたたずむログハウス「ランプの宿」や、雑木林のプランコ、滑り台などはすべてボランティアの手で作られ、守られています。この度、独立行政法人福祉医療機構の助成事業として建設した、念願の「いろり庵」がついに完成。川のせせらぎを聞き、緑の木々や山を眺めながら、囲炉裏を囲んでゆっくりと語る三世交流スペースです。

来年の国民文化祭では、子どもたちの原始時代の家づくりが「子ども夢プロジェクト」に採択されました。今から夢が広がります。

おもな活動内容

- ・「ヒュッテ桂谷ランプの宿・いろり庵」運営
- ・里山体験交流会企画、運営
- ・季刊「ふるさと紀行」（自費出版単行本）編集、発行

11月26日(土)、27日(日)にヒュッテ桂谷の里山文化祭が開催され、絵、写真、陶芸などの展示や文化講演会が行なわれます。



「まぢグル」とは、まちで活躍する市民活動グループのことで、や「なごの造語。今回から、市内のまぢグルの活動の魅力をご紹介します。みなさんもグルになってみませんか？今回は、国民文化祭の「文化維新おひろめ☆たい志」に、スポット！



おもしろ新聞社

連絡先 道場門前一丁目2-19 さぼらんで気付
TEL 083-901-1166

代表者 かろく
何 功



メンバーから 左から 久保田君、何君、山根君

取材、編集も楽しいし、発行したものが話題になった時はとてもうれしいです。読んで損はしません！作り方のノウハウを伝授しますので、他の学校のみなさんも、ぜひおもしろ新聞を発行してみてください。

山口大学教育学部附属山口中学校2年生のメンバーが中心になり発行する「おもしん」。内容は、主に附属中の行事や部活についてですが、「おひろめ☆たい志」として国民文化祭の情報や地域の情報も満載です。今は組織力を強化し、たくさんの人に支持される紙面を作りたいと意気込みも十分！目標は1,000部発行！附属中校内はもちろん、県立山口博物館やさぼらんでなどで無料配布しています。

おもな活動内容

- ・月刊紙「おもしん」の発行（毎月20日前後）
- ・ウェブサイト「おもしん.com」の運営
- ・<http://www.omoshin.com/>

リニューアル第1号「おもしん11月号」を10月20日に発行。今回から名前も「おもしろ新聞」から「おもしん」に変わりました。ぜひ読んでね！広告掲載なども募集中です。

市民活動グループの力強い味方

山口市市民活動支援センター“さぼらんで”とは？



“さぼらんで”は公設民営型の施設です。だれもが暮らしやすいまちづくりを目指す市民団体と、“今から”活動したい人を応援するために、相談受付・情報発信・講座などを行っています。登録市民団体は、会議室などの利用もできますので、ぜひお越しください。

★毎月このスペースでは、さぼらんでのイベント情報をお届けします。

文章の書き方講座 先着15名 参加無料

日時 11月17日(木)
午後1時30分～3時30分

講師 野稲 絵美氏
(サンデー山口編集局)

情報発信のルールや、記事の書き方を学びます。

※託児などのサポートが必要な方はお申し出ください。

え～っどうなってんの？ 先着20名 参加無料

これぞマジック！
ふしぎマジック！
byミステリーサークル

日時 11月26日(土)
午後1時30分～3時30分

元気でさわやかな県大生のマジックをお楽しみください。

ドネーションパーティー 応援券 受付中！

12月11日(日)開催
ワンコインでつながる幸せ・・・
ドネーションパーティーの12の
エントリー団体に対する
寄付応援を受け付けています。
100円の寄付で応援券
一枚と交換します。



Information お知らせ

国民健康保険被保険者証等の更新を行います

現在お使いの国民健康保険被保険者証・退職被保険者証の有効期限が11月末までに becoming ため、更新を行います。

新しい被保険者証は、一般の被保険者証がもも色、退職被保険者証がうぐいす色で、被保険者番号が10桁になります。

※11月中旬に配達記録郵便で発送します。新しい被保険者証は、12月からお使いください。その際、旧被保険者証は細かく切るなど、各自で処分をお願いします。

※11月末になっても被保険者証が届かない場合は、本庁または各総合支所担当課にお問い合わせください。

遠隔地被保険者証(通称マル遠) 旧山

口市の方は通常の更新になりますので、申請が必要です。新しく届いた被保険者証を持って、本庁または各総合支所・最寄りの出張所で手続きをお願いします。なお、対象者が学生の場合には在学証明書(原本)が必要です(学生証は不可)。

住民票が山口市にない学生の被保険者証(通称マル学) 現在、更新申請済みの

山口総合支所	〒753・8650	亀山町2-1	☎0833-922-4111
小郡総合支所	〒754・8511	小郡下郷609-1	☎0833-973-2411
秋穂総合支所	〒754・1192	秋穂東6570	☎0833-984-2121
阿知須総合支所	〒754・1292	阿知須2743	☎0836-651-4111
徳地総合支所	〒747・0292	徳地堀1744	☎0835-521-1112

お受け取りください。

今回は、年金受取後の年金証書提出は必要ありません。平成18年4月の支払いまで、大切に保管してください。

ださい。

新成人のみなさんへ

対象 昭和60年4月2日～61年4月1日に生まれた方

【山口地域】 平成18年1月8日(日)午後2時から、県スポーツ文化センター(吉敷3395-1)で開催

【小郡地域】 平成18年1月9日(月)午前11時から、市小郡ふれあいセンター(小郡下郷1440-1)で開催

【徳地地域】 平成18年1月8日(日)午前10時から、市徳地文化ホール(徳地堀1527-13)で開催

※小郡・徳地地域は10月1日、山口地域は11月1日現在の住民基本台帳を基に、案内状を送付します。他市町村の方で、山口市の成人式に参加希望の方は、希望する地域の担当窓口にご連絡ください。

問い合わせ 山口教育支所生涯学習課
☎0833-934-2006(6) ▼小

郡公民館 ☎0833-973-0063(8) ▼徳地教育支所生涯学習課 ☎0835-521-0217(7)

方には、11月中旬に世帯用被保険者証と一緒に新しいマル学の被保険者証を郵送します。手続きが未了の方はお早めに手続きしてください。手続きをしなければ、12月1日から無保険の状態になります。手続きには在学証明書(原本)が必要です(学生証は不可)。

いずれも 特別の理由もなく保険料を滞納している場合、被保険者証が郵送ではなく窓口交付になる場合があります。窓口交付の方には別途通知しますので、所定の手続きをお願いします。

問い合わせ 市保険年金課 ☎0833-934-2801、各総合支所
市民課▼小郡 ☎0833-973-8131 ▼秋穂 ☎0833-984-8022 ▼阿知須 ☎0836-654-113 ▼徳地 ☎0835-521-1113

高齢福祉年金を受給されている方へ

12月期の高齢福祉年金の支払いが、11月11日(金)から始まります。国民年金証書と受取印を持って、指定の郵便局で

年金に関する相談は「ねんきんダイヤル」へ!

年金請求などの年金相談
☎0570-0511165

年金を受けている方の年金相談
☎0570-0711655

受付時間 午前8時30分～午後5時(土・日・祝日を除く)

通話料金 市内通話料金(全国共通) ※一部PHS等からは、通話できません。

※国民年金保険料の納付関係については、山口社会保険事務所 ☎0833-922-5660(6) にお問い合わせください。

八王子車人形の世界 江戸の人形芸術を楽しむ

〔八王子学園都市大学・やまぐち街なか大学
学交流講座〕

「やまぐち街なか大学」とは、山口の街
いっばいをキャンパスとして、楽しく学ぶ
手作りの大学です。今回は、八王子車人形
の世界をご紹介します。

車人形とは、
江戸時代末期に
考案された人形
芝居で、文楽人
形よりも力強い
動きやテンポの
速い動きが表現
できます。



今回は、八王
子市郷土資料館
館長による解説講座のほか、海外公演も多
数行っている西川古柳座による車人形の美
演も行います。この機会にぜひご覧ください。
日時・場所 11月12日(土) 午後3時
30分〜5時・市菜香亭大広間(天花一
丁目2-17)
※当日午後3時〜5時は、一般客の大広
間の閲覧はできません。

申し込み・問い合わせ 11月10日(木)
までに電話またはFAXで、〒住所・
氏名・電話番号・参加人数を明記の上、
やまぐち街なか大学事務局(☎FAX 08
3-934-3515)

山口市公営施設管理 公社職員募集

採用予定日 平成18年4月1日
採用予定人数 若干名
業務内容 公共施設の管理業務
応募資格 昭和20年4月2日以降生ま
れの定年退職者(平成18年3月末日ま
での退職予定者および退職勧奨者など
を含む)

受付期間 11月15日(火)まで(土・
日・祝日を除く午前9時〜午後5時)
応募方法 市販の履歴書(A4サイズ)
に写真を貼り、必要事項を記入・押印
して、山口市公営施設管理公社(中央
五丁目14-22市役所別館3階)に本人
がお持ちください。なお、資格・技能
などをお持ちの方はご記入ください。

申し込み・問い合わせ 山口市公営施
設管理公社(☎083-928-7
899)
**離職・求職者のための
パソコン初心者講座**

開催日 12月1日(木)、3日(土)、
6日(火)、8日(木)、10日(土)の
5日間
場所 サンフレッシュ山口(湯田温泉
五丁目5-22)
内容・時間 ワードコース・午後1時
〜4時/エクセルコース・午前9時〜
正午

対象 市民で、離職者(予定含む)ま
たは就職希望者(学生除く) 20人(応
募者多数の場合抽選)
受講料 無料(テキスト代800円)
申し込み・問い合わせ 11月11日
(金・必着) までに、八ガキに〒住所
氏名、年齢、電話番号、ハローワーク
山口への登録の有無、希望コースを明
記の上、市商工振興課(☎083-
934-2719)

広げよう本を読む楽しさ 読み聞かせ講座開催

日時 【基礎編】11月28日(月) 午後
1時30分〜3時30分 【応用編】12月
5日(月) 午後1時30分〜4時
対象者 市内在住の両日参加可能な方
20人(応募者多数の場合抽選)

参加費 無料
場所・申し込み・問い合わせ 11月21
日(月・必着) までに、往復八ガキに
〒住所、氏名、年齢、電話番号を明記
の上、中央図書館(〒753-0007
5山口市中園町7-17 ☎083-990
1-1040)

ブックスタート事業 継続のお知らせ

ブックスタート事業では、絵本を通し
て親子のふれあいを深めるとともに、子
どもの読書活動を推進することを目的と
して、該当する方にブックスタートパッ

クを贈っています。
今後、これまで通り実施し、該当す
る方にはご案内を送付します(徳地地域
の方には、出生届の受理時にお渡しして
います)。
詳しくは、お住まいの地域の担当まで
問い合わせください。
各地域の問い合わせ ▼山口:中央図
書館(☎083-901-1040)
▼小郡:小郡図書館(☎083-9
73-0098) ▼秋穂:秋穂保健
センター(☎083-984-80
31) ▼阿知須:健康福祉課(☎0
836-65-4114) ▼徳地:
徳地保健センター(☎0835-5
2-1114)

事業所で加入しませんか ハートピア共済

中小企業で働く方の福祉向上を目的と
した共済制度です。月々わずかな掛け金
で、死亡・障がい・入院・住宅災害等を
保障し、さらに、結婚・出産や小中学校
入学祝い金も給付します。各種福利厚生
事業もありますので、ご利用ください。

掛金 1型(450円)/2型(90
0円)/3型(1500円)/4型
(2000円) / 高齢者型(450円)
※1〜4型加入者の配偶者および子ども
は、ファミリー型(500円)に加入
できます。
問い合わせ 市勤労福祉共済会(市商
工振興課内 ☎083-934-2
719)

ご利用ください 各種無料相談窓口

【山口法律関連士業ネットワーク
一斉共同相談会】

行政書士や司法書士など法律関係の専門家が、さまざまな暮らしの悩みごとの相談に応じます。

■日時・場所 11月26日(土) 午前10時～午後4時・山口県土地家屋調査士会館(惣太夫町2-2)

※事前予約必要(当日予約可、当日連絡先 ☎0833-9222-5975)

■予約・問い合わせ 山口県弁護士会事務局 ☎0833-9222-0088

【司法書士サラ金・クレジット無料電話相談会】

消費者金融・信販会社・銀行等への返済でお困りの方に、問題解決に向けた債務整理手続についてアドバイスをします。

■日時 11月5日(土)、12月3日(土) いずれも午前10時～午後4時

■電話番号 ☎0120-0003-821

■問い合わせ 山口県青年司法書士協議会 ☎08334-27-2464

【女性の人権ホットライン】

配偶者・パートナーからの暴力や職場でのセクシャル・ハラスメント、ストーカー行為など、女性をめぐる人権問題の解決に向けた助言と相談を行います。

■日時 11月20日(日) 午前10時～午後5時

電話番号 ☎0833-9201-311
問い合わせ 山口県地方事務局 ☎0833-9222-2295

市歴史民俗資料館 「山口・昭和のあゆみ展」

山口市は、昭和30年代から道路整備などが進み、町並みや生活様式も変化してきました。現在の山口市の基盤ともなった昭和時代の中期に焦点をあて、変革期と現在を比較しながら紹介します。

■開催期間 平成18年1月15日(日)まで
■時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※休館日：月曜日(11月4日、11月24日、12月26日)～1月5日、1月10日は休館

■入館料 大人100円、小・中学生50円
■問い合わせ 市歴史民俗資料館(春日町5-1) ☎0833-9247-7001

山口情報芸術センター 映画上映会のお知らせ

【シリーズ映画史を読み解く「アンドロイ・タルコフスキー監督作品+都市と映像」特集】

映画『惑星ソラリス』を始めとした同監督の作品を一挙上映します。

※現在開催中の「コナ・フィッシュャー&マロアン・エル・サン/新作展」(スタジオBで11月27日(日)まで。詳しくはお問い合わせください)の関連イベントです。併せてご覧ください。

■場所 山口情報芸術センター(中園町7-17)
■入場料 各回500円(各回入替制、先着100人)

日 程	上 映 映 画
12日(土)	14:00~15:50 「動くな、死ね、甦れ！」 1989年/モノクロ/105分
	16:20~18:20 「殺し屋」 1956年/モノクロ/20分 「僕の村は戦場だった」 1962年/モノクロ/94分
13日(日)	14:00~15:50 「一年の九日」 1961年/モノクロ/108分
	16:20~19:10 「惑星ソラリス」 1972年/カラー/165分

※19日(土)以降の日程は、市報11月15日号に掲載予定

■問い合わせ 山口情報芸術センター ☎0833-9011-2222

古代の世界に 思いをはせよう

【古代人の知恵に挑戦！弥生土器を作ってみよう】

■場所 山口大学
総合図書館(吉田1-67-1)

■対象 小学生高学年以上10人程度(先着順)

■参加費 無料
(保険料100円)

日 時	内 容
12月4日(日) 10:00~16:00	土器製作
12月17日(土) 9:00~12:00	火おこし・土器焼成※自由参加
12月18日(日) 13:00~14:30	土器取り出し ※自由参加

■持参品 筆記用具、エプロン、タオル、弁当

■申し込み・問い合わせ 11月15日(火)までに電話、FAXまたはEメールのいずれかで、山口大学埋蔵文化財資料館 ☎0833-9333-5035

✉ yuam@yamaguchi-u.ac.jp

【古墳の世界～山口の古墳を探る～】
県内主要墳墓の出土資料を展示します。
■期間 11月5日(土)～平成18年2月24日(金)

※閉館日は、初日を除き土・日・祝日
■入館料 無料

■場所・問い合わせ 山口大学埋蔵文化財資料館 ☎0833-9333-5035

山口シテイカレッジ 公開講座

【21世紀の女の生き方・男の生き方】

市主催の公開講座です。どなたでも受講できますので、お気軽にご参加ください。

■日時 11月11日(金) 午後1時30分～3時30分

■場所 県教育会館(大手町二丁目18)
■講師 伊藤公雄氏(大阪大学大学院人間科学研究科教授)

■入場料 無料

■問い合わせ 山口シテイカレッジ運営委員会(西山様方) ☎0833-9989-4731

※4ページにも、国民文化祭のプレイベントを紹介しています。

1 (火) 阿知須文化祭 (～3日)
 ◇場所 阿知須公民館、さらら館、おげんきかん
 ◇内容 生涯学習作品展、バザー、さらら館まつり(3日)、おげんきかんまつり(3日)など
 ◇問い合わせ 阿知須公民館 (☎0836-65-2022)

2 (水) おごおり文化祭 (～30日)
 【総合フェスティバル】(2・3日)
 ◇場所 市小郡公民館とその周辺
 ◇内容 公民館利用団体による展示即売など
 ◇問い合わせ 実行委員会 (☎083-973-0638)

5 (土) 新市誕生記念あいお花火まつり
 ◇場所 大海漁港(秋穂東)
 ◇問い合わせ 秋穂町商工会青年部事務局 (☎083-984-2738)

6 (日) 仁保大農業まつり
 ◇場所 道の駅「仁保の郷」(仁保中郷)
 ◇内容 朝市、バザー、フリーマーケットなど
 ◇問い合わせ 仁保公民館 (☎083-929-0105)

山口市徳地フェスティバル2005
 ◇場所 市徳地山村開発センター(徳地堀)周辺
 ◇内容 特産品販売、県産和牛一頭分のバーベキューなど
 ◇問い合わせ 実行委員会 (☎0835-52-0026)

6 (日) あいお祭り
 ◇場所 大海総合センター(秋穂東)
 ◇内容 特産品販売、あいお鍋(無料・先着500人)など
 ◇問い合わせ 市秋穂総合支所経済課 (☎083-984-8027)

12 (土) ルーラル315・376フェスタ (～13日)
 ◇場所 道の駅「仁保の郷」、山里農産加工販売所(徳地柚木)、南大門朝市(徳地堀)
 ◇問い合わせ 市農業振興課 (☎083-934-2816) 市徳地総合支所経済課 (☎0835-52-1117)

19 (土) 図書館まつり
 ◇内容 ブックリサイクル・フェスタ、おはなし会など
 ◇場所・問い合わせ 中央図書館(中園町7-7) ☎083-901-1040

20 (日) 浜村杯秋穂ロードレース大会
 ◇場所 秋穂中学校グラウンド(秋穂東)
 ◇問い合わせ 大会事務局 (☎083-984-2132)
 ※出場申し込みは終了

あじすふれあいまつり(9:00～15:00)
 ◇場所 JR阿知須駅周辺および阿知須商店街
 ◇内容 フリーマーケット、ジャンボ釜など
 ◇問い合わせ 市阿知須総合支所経済課 (☎0836-65-4420)

■同時開催イベント
【第9回あじす街角ぎやらりー】(9:00～16:00)
 ◇内容 ひなもんまつり、手作り小物販売など
【農業まつり】(9:30～15:00)
 ◇内容 地場新鮮野菜の販売、焼肉コーナーなど
 ◇場所 JA山口宇部阿知須支所

ご覧ください

山口市の広報番組 11月の放送予定です



3コーナーで構成。人やまちの魅力を紹介する、市民参加型の情報番組です。

山口ケーブルビジョン(12チャンネル)

曜日	11/1(火)～15(火) ①	11/16(水)～30(水) ②
月・水 金・日	7:35 *12:25 18:05 *22:10	7:35 12:05 18:05 21:50
火・木 土	*7:55 12:05 *18:25 21:50	

※「infoやまぐち」「ごっぼうええのお～」のみの放送(20分)

「このまちに愛たい」(20分)

- 市民文化を発信し続け10周年! 「アートふる山口」
- 都市農村交流で元気なまちづくり 「山口市徳地」

「infoやまぐち」(10分)

1週間更新で、市からのお知らせを放映

「ごっぼう ええのお～」(10分)

- 旬の味を楽しもう!(小郡)
- 旬の味を楽しもう!(阿知須)



市政のPRから地域情報まで、生活に身近な話題を幅広くお届けします。

山口朝日放送(YAB)

毎週水曜日午後1時55分から4分間放送

- 2日「青い森を歩いてみよう」
- 9日「健康シリーズ 育児を手助け」
- 16日「里山の味覚を味わってみま専科」
- 23日「ふるさと歴史散歩」
- 30日「未定」

私たちのまち



主に市政および市からのお知らせを分かりやすくお伝えする番組です。

テレビ山口(TYS)

毎週日曜日午前11時40分から4分間放送

- 6日「架空請求にご注意を」
- 13・20日「教えて!国民年金」
- 27日「行ってみよう!さぼらんで」



シャッターチャンス!

ペタン！新米でつくる おもちはおいしいよ

徳地・三谷地区の石垣棚田を借り受ける制度に登録している家族連れら33組（98人）が、もみすり農作業体験と収穫感謝祭を楽しみました。作業の後は、三谷交流センターで押し寿司やしし鍋を作ったり、もちつきをしたりして、地元の方との触れ合いや参加者同士の交流の輪が広がりました。（10月9日）



「小郡ミステリーウォーク」で秋を満喫

小郡の栄山公園、石ヶ坪山周辺でミステリーウォークが開催され、約350人の家族連れがさわやかな汗を流しました。チェックポイントが書かれた道案内を手に、まちにまつわるクイズを解きながらゴールを目指しました。その後参加者らは、みそ仕立ての山頭火なべに舌鼓を打ち、ビンゴゲームなどを楽しみ、充実した一日を過ごしました。（10月10日）

新市の一体感を味で実感！

さわやかな秋晴れのもと、阿知須のきららスポーツ交流公園で「きらら物産・交流フェア」が行われ、多くの人でにぎわいました。市内各地域の特産物がたっぷり入った「合併鍋」のコーナー（市内商工会主催）には長い行列ができ、来場者は地域の食材が織りなす味のハーモニーを堪能していました。（10月16日）



表紙写真説明
10月8・9日に、市民手づくりのイベント「第10回アートふる山口」が開催されました。会場の一つ、市菜香亭では、市内で初めてとなる、平安朝の女官の正装「十二単」の着付け実演が行われました。着付けられるに従い、色どりを増す衣の雅やかなたたずまいに、詰めかけた約200人の観客は、うっとりとして見入っていました。着付けを終えたモデルが、扇を手に広間を一回りするのと、観客からは盛んな拍手が送られました。

編集後記
市では、本号15ページに掲載している通り、広報番組をいくつか制作しています。放映頻度は早いもので週替わりのため、担当者は常に「旬のネタ探し」に追われながらも、「みなさんに郷土を知ってもらい、もっと好きになってもらいたい！」という気持ちで、頑張って制作しています。ぜひご覧ください。